

昔の暮らし大変だね

長浜でびわ南小児童が体験学習

長浜市大依町の浅井歴史民俗資料館で十二日、同市びわ南小学校の三年生三十三人が参加した「昔のくらし体験学習」があった。

同資料館は、昭和二十年代まで使われていた農作業具などを民俗資料として所

蔵している。資料館の友の会「あざい歴史の会」のメンバーが講師となり、社会科の課外授業で訪れた児童に道具の使い方や生活の移り変わりを紹介している。

子どもたちは、洗濯板とタライで手ぬぐいを洗ったり、乾燥させた稻わらを千歯こきや足踏み脱穀機で脱穀したりする体験をした。

わらで編んだ長靴や草履、薪を運ぶ背負いばしごを身につける場面もあり、講師役の馬場利和さん(六七)が「わら草履は冬の間に分の家で作っていたが、十日ほど履くと、すり減って破れてしまう」と紹介すると、児童は口々に「昔の人の生活は今よりも大変だ」と話していた。

二〇一八年度の児童受け入れは昨年十月に始まった。今月十五日までに二十七校の千人余を受け入れる。(相馬敬)



背負いばしごを身につける児童＝長浜市大依町の浅井歴史民俗資料館で